

皆様、おはようございます。

11月に入り、いよいよ朝晩が冷え込んでまいりました。冬の備えをなさり、皆様暖かく、お元気にお過ごしでしたでしょうか。

いよいよ今月の第4主日からアドベント、主のご降誕の待降節が始まります。今年はどう多くの炎が5つ目になる時がクリスマスです。そしてその日は今年2022年最後の礼拝の日でもあります。その翌週は元日の礼拝となります。1週1週、今年注がれました主の祝福を思い起こしながら、感謝と賛美の礼拝をささげ、そして主のご降誕を感謝をもって待ち望みたいと願います。

日もまだまだ短くなっていきます。寒さもこれからがいよいよ本番です。助け合い、祈り合い、励まし合って日々を生きていきたいと願います。

黙示録も12章に入ってまいりました。

悪魔、サタン、蛇、龍という言葉が何度も出てきます。いよいよおどろおどろしくなってきました。

悪魔が暗躍し、脅し、命をつけ狙う禍々しい出来事が多く記されていますが、その中でも多くの慰めが語られております12章を読み進めてまいりましょう。

1 また、大いなるしるしが天に現れた。ひとりの女が太陽を着て、足の下に月を踏み、その頭に十二の星の冠をかぶっていた。

2 この女は子を宿しており、産みの苦しみと悩みとのために、泣き叫んでいた。

大いなるしるし。7つのラッパが鳴り響き、いよいよ終わりの時。天に現れたのは一人の女性でした。その人は太陽を着て、足の下に月を踏み、頭には12の星の冠をかぶっていました。つまりこれは、神様の選びのもとで、神の民のもと、大自然、神様の造られた者全てが総動員されて、共同の働きとして一体となって突き進むことを指します。神の民には、子を宿し、産みの苦しみと悩みがあり、泣き叫んでいました。この「子」とは、後に分かりますが、救い主イエス・キリストの事です。この救い主が生まれる前に、神の民と全世界にどれだけ長い間の苦しみと叫びとうめきがあったことでしょうか。

ローマ 8:18 わたしは思う。今のこの時の苦しみは、やがてわたしたちに現されようとする栄光に比べると、言うに足りない。

8:19 被造物は、実に、切なる思いで神の子たちの出現を待ち望んでいる。

8:20 なぜなら、被造物が虚無に服したのは、自分の意志によるのではなく、服従させたかたによるのであり、

8:21 かつ、被造物自身にも、滅びのなわめから解放されて、神の子たちの栄光の自由に入る望みが残されているからである。

8:22 実に、被造物全体が、今に至るまで、共にうめき共に産みの苦しみを続けていることを、わたしたちは知っている。

8:23 それだけではなく、御霊の最初の実を持っているわたしたち自身も、心の内でうめきながら、子たる身分を授けられること、すなわち、からだのあがなわれることを待ち望んでいる。

8:24 わたしたちは、この望みによって救われているのである。

3 また、もう一つのしるしが天に現れた。見よ、大きな、赤い龍がいた。それに七つの頭と十の角とがあり、その頭に七つの冠をかぶっていた。

4 その尾は天の星の三分の一を掃き寄せ、それらを地に投げ落した。龍は子を産もうとしている女の前に立ち、生れたなら、その子を食い尽そうとかまえていた。

5 女は男の子を産んだが、彼は鉄のつえをもってすべての国民を治めるべき者である。この子は、神のみもとに、その御座のところに、引き上げられた。

七つの頭と十の角。頭に七つの冠。七つの頭とは豊かな力と主権、豊かな生命力と知恵を現すようですが、これは悪魔の狡猾さを表しているということが出来るでしょう。

十の角とは、力を現し、七つの冠はこの地上世界に対する支配権を持っていることを指すでしょう。その赤い龍は尾によって天の星の三分の一を掃き寄せ、それらを地に投げ落としました。それは第4のラッパの時にあらわされた災厄のようでした。そして龍は「子を産もうとしている女の前に立ち、生れたなら、その子を食い尽そうとかまえて」いました。

創世記 3:15 わたしは恨みをおく、／おまえと女とのあいだに、／おまえのすえと女のすえとの間に。彼はおまえのかしらを砕き、／おまえは彼のかかとを砕くであろう。

このように書かれていますように、悪魔は御子に対して敵意を抱き、毒牙で御子を滅ぼそうとしますが、御子は悪魔の頭を踏み砕きます。

5 女は男の子を産んだが、彼は鉄のつえをもってすべての国民を治めるべき者である。この子は、神のみもとに、その御座のところに、引き上げられた。

詩篇 2:7 わたしは主の詔をのべよう。主はわたしに言われた、「おまえはわたしの子だ。きょう、わたしはおまえを生んだ。

2:8 わたしに求めよ、わたしはもろもろの国を／嗣業としておまえに与え、地のはてまでもおまえの所有として与える。

2:9 おまえは鉄のつえをもって彼らを打ち破り、陶工の作る器物のように彼らを／打ち砕

くであろう」と。

ついに神の民イスラエルから、メシアキリストであるイエス様が生まれました。そして主は、裁き手として、主権をもって御子は来られます。御子は贖いをなし、救いを与え、そして天に引き上げられました。

6 女は荒野へ逃げて行った。そこには、彼女が千二百六十日のあいだ養われるように、神の用意された場所があった。

龍の猛然とした攻撃の中、女は荒野に逃げて行きました。「そこには、彼女が千二百六十日のあいだ養われるように、神の用意された場所があった」。

それはエジプトから導き出されて進んだ荒れ野、天からマナを降らせて神様がご自身の民を養われた出来事を思い起こさせます。またマリアとヨセフとイエス様がヘロデ王から守られたことをも思い出させます。

1260日。すなわち3年半。それは完全数である7年の半分の年月です。限られた忍耐の時、絶えることが出来るように、主は逃れの場と、糧と養いとを備えて下さいます。神の民のためには、守り抜いて、贖いだして、命を与えて下さる神様からの「用意された場所」があります。主の山には備えがあります(創世記 22:14)。

7 さて、天では戦いが起った。ミカエルとその御使たちとが、龍と戦ったのである。龍もその使たちも応戦したが、

8 勝てなかった。そして、もはや天には彼らのおる所がなくなった。

9 この巨大な龍、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経たへびは、地に投げ落され、その使たちも、もろともに投げ落された。

10 その時わたしは、大きな声が天でこう言うのを聞いた、「今や、われらの神の救と力と国と、神のキリストの権威とは、現れた。われらの兄弟らを訴える者、夜昼われらの神のみまえて彼らを訴える者は、投げ落された。

さて、天で戦いが起こります。神に仕える御使いミカエルがその御使いたちとともに、この神の民をつけ狙う龍と戦いました。龍は応戦しましたが、その甲斐なく敗北し、もはや天に彼らの居場所はなくなりました。

かつては天に居場所があったのに、傲慢と不遜のゆえに、神への不従順のゆえに、彼らの居場所はなくなりました。人のためには逃れの地、用意された場所があります。しかし惑わす者のためにはどこにも居場所はありません。ただ落とされて入り込む底知れぬ穴があるだ

けです。

10 その時わたしは、大きな声が天でこう言うのを聞いた、「今や、われらの神の救と力と国と、神のキリストの権威とは、現れた。われらの兄弟らを訴える者、夜昼われらの神のみまえて彼らを訴える者は、投げ落された。

ヨブ 1:6 ある日、神の子たちが来て、主の前に立った。サタンも来てその中にいた。

1:7 主は言われた、「あなたはどこから来たか」。サタンは主に答えて言った、「地を行きめぐり、あちらこちら歩いてきました」。

1:8 主はサタンに言われた、「あなたはわたしのしもべヨブのように全く、かつ正しく、神を恐れ、悪に遠ざかる者の世にないことを気づいたか」。

1:9 サタンは主に答えて言った、「ヨブはいたずらに神を恐れましょうか」。

1:10 あなたは彼とその家およびすべての所有物のまわりにくまなく、まがきを設けられたではありませんか。あなたは彼の勤労を祝福されたので、その家畜は地にふえたのです。

1:11 しかし今あなたの手を伸べて、彼のすべての所有物を撃ってごらんください。彼は必ずあなたの顔に向かって、あなたをのろうでしょう」。

このように、全世界を惑わし欺く悪魔は、神の前に人を告発し、その日をあげつらい、人がいかに罪深く、神の許にふさわしくないかを連綿と語って神の許から人を切り離そうと画策します。しかし彼は「投げ落とされ」、「投げ落とされ」、「投げ落とされ」ます。

11 兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもそのいのちを惜しまなかった。

しかし、いかにその切り崩し工作が甚だしいものであったとしても、小羊の血は贖いとしてその民の上に救いをもたらし、神の子らの証しの言葉が彼ら自身を守り、救います。小羊の血と彼らの証しの言葉は悪魔に彼らを打ち勝たせます。彼らはキリストイエスがそうされたように、自分の命を愛するよりもむしろ進んでそれを主イエス様のためにささげます。そして命をより豊かに受けるのです。

ヨハネ 12:24 よくよくあなたがたに言うておく。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。

12:25 自分の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至るであろう。

12:26 もしわたしに仕えようとする人があれば、その人はわたしに従って来るがよい。そうすれば、わたしのおる所に、わたしに仕える者もまた、おるであろう。もしわたしに仕えようとする人があれば、その人を父は重んじて下さるであろう。

12 それゆえに、天とその中に住む者たちよ、大いに喜べ。しかし、地と海よ、おまえたちはわざわいである。悪魔が、自分の時が短いを知り、激しい怒りをもって、おまえたちのところに下ってきたからである」。

悪魔は自分の時が短いを知っています。

この「時」という言葉は、3年半とか、何年という時の長さを図る言葉ではなくて、「待ちに待った時、ちょうど良い時、定められた時」を指します。彼のためにはすべてが番狂わせで、うまく行かず、裏目に出て、最悪に働き、落ち行くばかりなのです。何という悲惨でしょう。そして、悪魔はいよいよ怒りの炎をもって教会と紙の民を激しく憎悪します。

13 龍は、自分が地上に投げ落されたと知ると、男子を産んだ女を追いかけた。

14 しかし、女は自分の場所である荒野に飛んで行くために、大きなわしの二つの翼を与えられた。そしてそこでへびからのがれて、一年、二年、また、半年の間、養われることになっていた。

神の民のためには、鷲の翼によって、逃れの地、用意された場所があり、「時」「時」「時」（「年」と訳されているのは先ほど適時、良い時、定められた時と訳された言葉）との、適時のお守りがあります。

出エジプト記 19:3 さて、モーセが神のもとに登ると、主は山から彼を呼んで言われた、「このように、ヤコブの家に言い、イスラエルの人々に告げなさい、

19:4 『あなたがたは、わたしがエジプトびとにした事と、あなたがたを鷲の翼に載せてわたしの所にこさせたことを見た。

19:5 それで、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るならば、あなたがたはすべての民にまさって、わたしの宝となるであろう。全地はわたしの所有だからである。

19:6 あなたがたはわたしに対して祭司の国となり、また聖なる民となるであろう』。これがあなたのイスラエルの人々に語るべき言葉である」。

15 へびは女の後に水を川のように、口から吐き出して、女をおし流そうとした。

16 しかし、地は女を助けた。すなわち、地はその口を開いて、龍が口から吐き出した川を飲みほした。

17 龍は、女に対して怒りを発し、女の残りの子ら、すなわち、神の戒めを守り、イエスのあかしを持っている者たちに対して、戦いをいどむために、出て行った。

18 そして、海の砂の上に立った。

イザヤ 43:1 ヤコブよ、あなたを創造された主はこう言われる。イスラエルよ、あなたを造られた主はいまこう言われる、「恐れるな、わたしはあなたをあがなった。わたしはあなたの名を呼んだ、あなたはわたしのものだ。

43:2 あなたが水の中を過ぎるとき、わたしはあなたと共にいる。川の中を過ぎるとき、水はあなたの上にあふれることがない。あなたが火の中を行くとき、焼かれることもなく、炎もあなたに燃えつくことがない。

43:3 わたしはあなたの神、主である、イスラエルの聖者、あなたの救主である。わたしはエジプトを与えて／あなたのあがないしろとし、エチオピヤとセバとをあなたの代りとする。

43:4 あなたはわが目に尊く、重んぜられるもの、わたしはあなたを愛するがゆえに、あなたの代りに人を与え、あなたの命の代りに民を与える。

43:5 恐れるな、わたしはあなたと共にいる。

悪魔は濁流の川のようにとめどなく悪の力を尽くして神の民に襲いかかります。しかし私たちのためには、すべてのことが合い働いて益となります。

私たちは、この時をも場所をも糧をも備えて養っていて下さるお方、赦し主、癒し主、育て主を信じて、小羊の血と、御言葉の証しのゆえに、何ものをも恐れずに突き進むことが出来るのです。

ローマ 8:28 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

伝道者の書 3:1 天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。

3:2 生るるに時があり、死ぬるに時があり、植えるに時があり、植えたものを抜くに時があり、

3:3 殺すに時があり、いやすに時があり、こわすに時があり、建てるに時があり、

3:4 泣くに時があり、笑うに時があり、悲しむに時があり、踊るに時があり、

3:5 石を投げるに時があり、石を集めるに時があり、抱くに時があり、抱くことをやめるに時があり、

3:6 捜すに時があり、失うに時があり、保つに時があり、捨てるに時があり、

3:7 裂くに時があり、縫うに時があり、黙るに時があり、語るに時があり、

3:8 愛するに時があり、憎むに時があり、戦うに時があり、和らぐに時がある。

3:9 働く者はその労することにより、なんの益を得るか。

3:10 わたしは神が人の子らに与えて、ほねおらせられる仕事を見た。

3:11 神のなされることは皆その時にかなって美しい。神はまた人の心に永遠を思う思いを授けられた。それでもなお、人は神のなされるわざを初めから終りまで見きわめることはできない。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。困難の時、居場所を失った時、途方に暮れる時、欠乏の時、それでも私たちには逃れの地が、居場所があり、定められた慰めの時、喜びの時があり、神様の養いが常にありますから、本当にありがとうございます。世の中にはすべて混乱があり、混迷の度を増していますが、悪魔の攻撃にめげずにイエス様の贖いの信仰によって勇気を頂いて神の御言葉の定める道を進み、イエス様の証しを続けることが出来るように今週も私たちをお守りください。子供からお年寄りまで、あらゆる年齢の方々が、この時こそ教会にて、イエス・キリストに出会うことができますようにお願いいたします。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン